科目ナンバリング	U-LAS30 20013 LJ11						
授業科目名 <英訳>	情報ネットワーク Information Network			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 日置 尋久		
群	情報学科目群	分野(分類)	(各論)			使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	水5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

情報収集，SNSやメール等によるコミュニケーション，あるいは買い物などでインターネットを利用することはごく日常的なことであり，その利便性は言うまでもない．しかしその利用法が適切でなければ，トラブルに巻き込まれて被害者になったり，そうとは気づかないうちに加害者になることもありうる．またネットワークの利用において不具合が生じたときに，それに対処できる素養は重要である．そこで本科目では，インターネットの基盤とサービスの仕組み，ネットワークを安全に利用するための情報セキュリティ，情報ネットワーク社会における著作権について学び，インターネットをなんとなく利用するレベルから脱却し，インターネットをより適切に利用し，また起こりうる問題を回避する，あるいは問題に的確に対処するための素養を身につけることを目的とする．

[到達目標]

インターネットの通信の仕組み，情報セキュリティに関わる問題と対策，情報ネットワーク社会における著作権について理解し，ネットワーク社会で自立することを目指す．

[授業計画と内容]

この授業で予定している内容は，おおよそ以下のとおりである．

01. イントロダクション
02. インターネットの概要
03. インターネットの仕組み --- IPアドレス
04. インターネットの仕組み --- DNS
05. インターネットでの通信の仕組み --- TCP/IP(1)
06. インターネットでの通信の仕組み --- TCP/IP(2)
07. WWWの仕組み
08. メールの仕組み
09. 検索エンジンの仕組み
10. ネットワークサービスの運営の仕組み
11. 情報セキュリティ(1)
12. 情報セキュリティ(2)
13. 情報ネットワーク社会のルール --- 著作権(1)
14. 情報ネットワーク社会のルール --- 著作権(2)
15. 授業フィードバック

[履修要件]

コンピュータと情報処理の仕組みを学習する「情報基礎［全学向］」も別途受講することを勧める．

[成績評価の方法・観点]

インターネットでの通信の仕組み，情報セキュリティ，情報ネットワーク社会のルールについて理解することを求める．これらの内容に関わる期末レポートの理解度によっておもに成績を評価する．

情報ネットワーク(2)へ続く↓↓↓

情報ネットワーク(2)

また授業中に演習問題を適宜行う.それらの結果も評価に反映させる.全体として授業中の演習問題について30%，期末レポートについて70%の割合で評価を行う.

[教科書]

授業資料は原則としてLMSでPDFファイルとして提供する．授業中はノートPC等で資料を参照することを想定している.

[参考書等]

（参考書）
使用しない.

[授業外学修（予習・復習）等]

授業の各トピックについて予め関係する書籍で学習しておくことで，講義内容の理解を深められるようにすることが望ましい．また授業後には，もう一度内容を振り返ることで理解度を確認し，コンピュータによって確認できる事項であれば，実際に時間外に試してみることを勧める.

[その他（オフィスアワー等）]

授業中はノートPC等のデバイスでLMSの資料を参照することを想定している．授業に出席するにあたってはデバイスのバッテリー残量が十分ある状態にしておくこと.

本講義で予定しているトピックに関連して，下記の情報セキュリティに関するe-learning講義を受講すること．なお，このe-learningは京都大学の全構成員に対して，年度ごとに受講が求められているものです.

情報セキュリティe-Learning
https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部